

市政に臨む基本方針

詳政策推進課 TEL(32)6039

第18回市議会定例会で岩倉市長は、4期目の市政運営に当たり「市政に臨む基本方針」として、所信の一端を表明しました。

はじめに

市長就任時から、危機的な財政状況の改善を最重要課題と位置付け、1期目には財政健全化の道筋を示すこと、2期目には財政基盤を確立することに力を注いでまいりました。その結果、財政指標は確実に好転し、3期目では財政基盤の強化に取り組んだことにより、健全性は確保される状態で推移しているところです。

4期目のテーマである「快適都市を目指して」を実現するための目標として「財政基盤のさらなる強化、そして20年先を見据えたまちづくりの実践」を掲げ、安定した税収の確保はもとより税外収入確保に向けた取り組みに知恵を絞り、健全な財政の維持に努めるとともに、ものづくり産業のさらなる集積、臨海ゾーンにおけるロジスティクスの構築、臨空ゾーンにおけるIR(カジノを含む統合型リゾート)などの国際観光リゾートの展開にチャレンジします。

また、(仮称)市民ホール建設や、積み残しの課題である苦小牧

駅前広場再生への取り組みにつきましても、引き続き全力で取り組みます。

市制施行70周年の節目から新しい一歩を踏み出すに当たり、改めて、生まれ育ったふるさと苦小牧の近未来に向けた道づくりのため、私の力の全てを注ぎたいと決意しているところです。

次の世代へもっとたくましい苦小牧を引き継ぐことができるよう、各種施策をしっかりと推進していきます。



苦小牧市長 いwakura ひろふみ 岩倉 博文

市民の皆さんと約束した公約に基づき、4年間で取り組む基本政策についてお知らせします。

基本政策

II

産業流通の活性化、働く人の
明るい笑顔あふれるまち
苦小牧 導きます！

●駅前広場を苦小牧の顔として復活させます

旧サンプラザビル跡地の権利集約を最優先に取り組みます。また、駅前広場を中心にイルミネーションを実施します。

●中小企業や商店街の活性化と農林水産業の振興を図ります

創業促進や人材確保、各種助成制度により中小企業や商店街を支援します。また、「苦小牧産ほつき貝」のブランド化などを進め、水産業の振興を図ります。

●苦小牧港のロジスティクス機能の強化を図ります

食関連産業の誘致を進め、海上輸送におけるロジスティクス機能の強化に取り組めます。また、西港区のふ頭再編など物流機能の向上に取り組めます。

●観光産業の振興を図り、苦小牧をPRします

「苦小牧国際リゾート構想」を主軸とした滞在型観光の振興を図ります。また、観光資源へのアクセス道路にネーミングライツを導入します。

●新千歳空港の民営化を見据えた施策を展開します

ウトナイ交流センター展望施設などを開設し、航路下地域の振興に取り組めます。また、良好なアクセスを生かした多様な産業の誘致を進めるほか、観光やスポーツなどを通じた交流人口拡大を促進します。

基本政策

I

行革を進め、無駄のない
効率的な都市機能をもつまち
苦小牧 築きます！

●新たな行財政計画を策定します

現行の計画を着実に進めます。また、新たに行財政計画を策定し、行政運営の効率化や財政の安定化を図ります。

●女性活躍社会の実現を目指します

講演会や官民合同研修会を実施するなど、市民・団体・企業・行政が連携し、男女平等参画社会の実現に向けた取り組みを進めます。

●人口減少を抑制します

雇用機会の拡大などに向けて観光産業の強化に取り組めます。また、若者の市内就職を促す施策や第3子を対象とした多子世帯への生活応援制度拡充などを検討します。

●市営住宅の適正な管理に努めます

「苦小牧市営住宅整備計画」に基づき、管理戸数の適正化に努めます。また、市営住宅管理業務の民間委託などの管理方法を検討します。

●職員の資質の向上、コンプライアンスの徹底を図ります

より効果の高い職員研修を実施し、職員の資質向上を図ります。また、公用車による事故違反の根絶を目指します。